

2021年1月20日

会員の皆様へ

社会系教科教育学会長 關 浩和
研究発表大会実行委員長 吉水 裕也

2020年度 社会系教科教育学会 第32回研究発表大会

厳寒の候、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

この度、2020年度第32回社会系教科教育学会研究発表大会をオンラインで開催することとなりました。

つきましては、会員の皆様方はもとより、社会科教育及び地理歴史科・公民科教育、生活科教育、総合的な学習の時間等に関心を持っていらっしゃる方々をお誘い合わせの上、多数ご参加くださいますよう、ご案内申し上げます。

記

I 研究大会概要

1 日 程

2021年2月13日（土） シンポジウム、理事会・総会（オンライン同期型）

11:00	12:00	13:00	15:30	15:40	16:10
	理事会		シンポジウム		総 会

2021年2月13日（土）～3月13日（土） 自由研究発表（オンライン掲載型）

2 主 催  社会系教科教育学会

3 後 援 国立大学法人 兵庫教育大学
兵庫県教育委員会・神戸市教育委員会・加東市教育委員会

4 大会参加費 1,000円（事前振込）

オンライン型シンポジウムへの参加や、自由研究発表資料の閲覧を希望される方も、この参加費が必要です。

今回はオンライン開催です。全国どこからでも参加できます。ぜひ参加費をお振り込みいただき、多くの方にご参加いただきますようお願いいたします。なお、参加申込は、学会Webサイトの申込フォームからお願いします。

大会参加申込の締切日 2021年2月5日（金）

参加費振込の締切日 2021年2月8日（月）

5 参加費振込口座（郵便局）

- ・口座名称： 社会系教科教育学会
- ・郵便振替口座記号番号： 01110-6-13385

同封の振込用紙以外を使用する場合は、通信欄に大会参加費とお書きください。年会費等をあわせてお支払いの際も、通信欄に内訳がわかるように必ずお書きください。

振込後に参加をキャンセルされた場合の返金はできません。あらかじめご了承ください。

6 問い合わせ先

〒673-1494 加東市下久米942-1 兵庫教育大学内
社会系教科教育学会 第32回研究発表大会事務局 吉水 裕也
e-mail: yosimizu@hyogo-u.ac.jp

2月13日(土)

社会系教科教育学会・理事会 (11:00 - 12:00 オンライン同期型)

シンポジウム (13:00 - 15:30 オンライン同期型)

シンポジウムテーマ

1人1台端末時代到来！
社会系教科教育におけるオンライン授業の可能性を探る

OECD生徒の学習到達調査2018年調査(PISA2018)の結果が2019年公表され、子供たちの読解力の著しい低下が指摘されたことは記憶に新しいが、同時に実施された学校の授業におけるデジタル機器の使用時間の調査では、OECD加盟国37カ国中最下位であった。両者の因果関係は明らかではないにしても、少なくともこれまで我が国の教育現場でのICTの環境整備と学校での活用が著しく立ち遅れていることは既に明らかになっていた。

そして、コロナ禍により日本中の学校が遠隔授業への対応を迫られたとき、各学校の創意工夫と努力により子供たちの学習を担保したものの、ICTに関わる環境整備や教育への活用の遅れが顕在化したと言えるのではないか。そのため、文部科学省のGIGAスクール構想は一気に加速し、年度内には我が国のほとんど全ての学校でICT環境が整備され、このシンポジウムが開催される頃には、ネットワーク環境の整備と1人1台のタブレット型PCの配備が行われ、ICT活用の新しい学習環境が出現しているだろう。

今回のコロナ禍により、短期間で全国の教員のICTスキルが一気に高まり、オンラインやオンデマンド、ネットワークを駆使し様々な学習方法が可能であることが広く明らかになった。今後、社会系教科教育においては情報の選択判断や価値付け、関連付けた思考を中核とする探究的学習が重要となることは明らかだが、ICTはどのような役割を果たすのか、どのような活用が最適な効果を生むのか。1人1台端末の環境が実現した今、教科教育と教育方法の視野からの検討が必要となるだろう。

そこで、本年度のシンポジウムでは、オンライン、オンデマンド、GISなど1人1台端末の授業へのICT活用について、社会科でのICT活用に関する4人の実践者に登壇いただく。そして、ICTを活用した先生方の実践研究発表について、社会科教育と教育方法の双方の視点から論点を整理していただき、参加の皆様からご意見をいただきながら、1人1台端末時代における、社会系教科教育研究の新たな視座を得ることができれば幸いである。

コーディネーター 大阪体育大学 岡崎 均
京都女子大学 松岡 靖

発表者 和歌山大学附属中学校 山口 康平
関西学院初等部 宗實 直樹
阿久根市立尾崎小学校 山口小百合
品川女子学院 河合 豊明

指定討論者 兵庫教育大学 米田 豊
和歌山大学 豊田 充崇

2月13日(土)～3月13日(土)

自由研究発表 (2月13日～3月13日 オンライン掲載型)

【第1分科会】初等社会科教育

(1) 未来をデザインする資質・能力形成のための社会科授業開発 (I)

—第6学年単元「世界の中の日本」の場合—

兵庫教育大学	關	浩和
兵庫教育大学	山内	敏男
兵庫教育大学	福田	喜彦
兵庫教育大学	阪上	弘彬
兵庫教育大学附属小学校	伊藤	文彬

(2) グローバル化した社会の認識形成をめざす小学校社会科工業学習の授業開発

—第5学年単元「世界とつながる自動車工業」の場合—

武蔵野大学	佐藤	克士
学習院初等科	大矢	幸久

(3) グローバル化した社会の認識形成をめざす小学校社会科工業学習の実践学的検討

—評価問題の開発とその分析—

学習院初等科	大矢	幸久
武蔵野大学	佐藤	克士

(4) なぜ西岡氏らの逆向き設計で作る社会科授業は貧弱なのか？

—小学校5年生農業単元の2つの授業実践の作成プロセスを比較して—

東京学芸大学	渡部	竜也
東京学芸大学教育学部	窪田	遙
東京学芸大学大学院	臼井	太一
東京学芸大学大学院	後藤	賢
東京学芸大学教育学部	阿川	史晃
東京学芸大学教育学部	國田	直海
東京学芸大学教育学部	加藤	那実

(5) ディプロマチック・センスを育成する小学校歴史学習の研究

—「協調の体系」「均衡の体系」が崩壊した中で展開された陸奥外交を取り上げる単元開発—

岩国市立通津小学校	松村	淳
-----------	----	---

(6) Matthew S. LipmanやLeonard Nelsonの「対話」を取り入れた小学校歴史学習

—第6学年「中世から近世の権威と権力」の実践を中心に—

兵庫教育大学大学院	小野	太郎
-----------	----	----

(7) 公共性構築力の育成を目指す小学校社会科単元カリキュラムの研究

—ライフライン学習の開発と実践を通して—

香川大学大学院	坂井	冴耶佳
---------	----	-----

- (8) 社会科開始学年におけるヒストリー学習・メタヒストリー学習の構成
 - 小3「市の様子の移り変わり」をいかして -
- | | | |
|--|---------------|-------|
| | 山梨大学 | 服部 一秀 |
| | 山梨大学教育学部附属小学校 | 神戸 博貴 |
| | 甲府市立甲運小学校 | 小笠原 咲 |
- (9) 小学校低学年社会系教科における子どもの認識形成に着目した授業提案
 鳴門教育大学大学院 藤井 時
- (10) 対話を組み込んだ小学校社会科授業の開発
 - 「予想」から「仮説」への高まりを意図して -
- | | | |
|--|-------------|-------|
| | 西宮市立名塩小学校 | 松浪 軌道 |
| | 西宮市立広田小学校 | 菅原 雅史 |
| | 西宮市立高須小学校 | 村田 真吾 |
| | 西宮市立上甲子園小学校 | 橋口 龍太 |
| | 西宮市教育委員会 | 西岡 健児 |
| | 兵庫教育大学 | 米田 豊 |
- (11) 社会科における子どもの深い学びを達成する授業モデルの開発
 - 第5学年「食料生産 米作りのさかんな地域」を事例として -
- | | | |
|--|------------|-------|
| | 弥富市立日の出小学校 | 植田真夕子 |
|--|------------|-------|
- (12) 都市計画を視点にして社会的合意形成力を育成する小学校社会科授業開発
 兵庫教育大学附属小学校 末永 琢也
- (13) アクション・リサーチによる小学校社会科授業の開発研究 (V)
 - 県境問題を視点にした第4学年単元「兵庫県のように」の場合 -
- | | | |
|--|-----------|------|
| | 兵庫教育大学 | 關 浩和 |
| | 兵庫教育大学大学院 | 寺内 凌 |
- (14) アクション・リサーチによる小学校社会科授業の開発研究 (VI)
 - 地理的な見方・考え方育成を視点にした第5学年単元「日本の畜産業」の場合 -
- | | | |
|--|-----------|-------|
| | 兵庫教育大学 | 關 浩和 |
| | 兵庫教育大学大学院 | 川上 貴行 |
- (15) アクション・リサーチによる小学校社会科授業の開発研究 (VII)
 - メディア・リテラシー育成を視点にした第5学年単元「わたしたちのくらしと情報」の場合 -
- | | | |
|--|-----------|-------|
| | 兵庫教育大学 | 關 浩和 |
| | 兵庫教育大学大学院 | 進藤 功充 |
- (16) 危機対応マネジメント育成に関わる社会科授業デザイン
 - ハイブリッド教材で創る授業 -
- | | | |
|--|--------|------|
| | 兵庫教育大学 | 關 浩和 |
|--|--------|------|
- (17) 協働的問題解決による小学校社会科授業開発
 - 社会科における協働的問題解決とは -
- | | | |
|--|-------------|-------|
| | 兵庫教育大学 | 關 浩和 |
| | 兵庫教育大学附属小学校 | 末永 琢也 |
| | 兵庫教育大学附属小学校 | 平川 泰海 |
| | 明石市立錦が丘小学校 | 広原 康平 |
| | 明石市立鳥羽小学校 | 森 清成 |

- (18) リスク認知の合理性を高める小学校授業開発
 - 食品管理の視点を組み込んだ政策判断を事例として -
 姫路市立南大津小学校 長川 智彦

【第2分科会】中等地理教育

- (1) 公共的な諸課題を解決する視点からの授業
 - 中学校地理的分野単元「日本の諸地域」を事例に -
 兵庫川女子大学 本多 千明
- (2) 地理的分野と公民的分野の「意図的接続」を図る中学校社会科授業開発
 - 地理的分野単元「南アメリカ州」の場合 -
 兵庫教育大学大学院 春名 大誠
- (3) 「視点の移動」を組み込んだ中学校「日本の諸地域学習」の授業開発
 - 単元「東北地方」を例に -
 兵庫教育大学大学院 上原 瑞生
- (4) 社会科における流域学習の検討
 兵庫教育大学 南埜 猛
- (5) 字を素材とした中学校社会科授業開発
 - 身近な地域の形成主体の育成をめざして -
 兵庫教育大学大学院 關 陸稔
- (6) 社会系教科教育におけるESDに関する研究の傾向と課題
 - システマティックレビュー -
 兵庫教育大学 阪上 弘彬
- (7) 高校生が考える地理の学習目標とその達成方略
 - 作問活動をととした学習支援の可能性 -
 広島大学大学院 宅島 大堯

【第3分科会】中等歴史教育

- (1) 自己の意識を相対化する高等学校「歴史総合」の授業開発
 - 近代国家における国民形成の学習の場合 -
 兵庫教育大学大学院 亀田まゆみ
- (2) 歴史意識を発達させる日本近現代カリキュラム開発研究
 - 歴史論争問題に焦点を当てて -
 東京大学大学院 星 瑞希
- (3) グローバルヒストリーの視点を組み込んだ「歴史総合」の授業開発とその評価
 - 単元モデル「日清、日露戦争と帝国主義の世界」の実践をとおして -
 兵庫教育大学大学院 杉山 正人

- (4) 法原理を獲得する中学校歴史学習の開発
－現代と過去の対比による法教育の実践－
兵庫教育大学大学院 藤本佳奈美
- (5) 生徒の主体的な思考を促す高等学校日本史授業実践
－防災カードゲーム教材「クロスロード」の活用－
兵庫教育大学大学院 谷川 耕平
- (6) 高等学校におけるICTを活用した日本史授業の改善
－Microsoft TeamsとPowerPointによる対話的歴史学習を中心にして－
兵庫教育大学大学院 金本 和大
- (7) 中学校社会科歴史的分野における歴史的エンパシーの実証的研究
－題材に関する既有知識と意味付けに着目して－
東京学芸大学大学院 石井 天真
- (8) 資料の批判的読解による社会的事象の再文脈化を目指す中学社会科歴史的分野の授業開発
兵庫教育大学大学院 藤田 真樹
- (9) 道徳の視点を取り入れた歴史教育の研究
－歴史人物の英雄的行動について考える歴史授業モデル開発－
高水高等学校 西村 豊
- (10) 生徒の自我関与を図る高校世界史の授業内容開発
－死について考える－
佐賀県立多久高等学校 堤 敏浩
- (11) 困難な歴史 (Difficult History) をどのように授業で扱うことができるか
－批判的社会文化的アプローチからの検討－
広島大学大学院 小野 創太
- (12) 地政学的な見方・考え方を働かせ多面的な解釈形成を目指す歴史学習
－中学校社会科歴史的分野「欧米における近代社会の成立」の場合－
富山大学人間発達科学部附属中学校 龍瀧 治宏

【第4分科会】中等公民教育

- (1) 〈考える「倫理」〉へ転換する倫理の授業開発
－原典資料と対話を活用して－
兵庫教育大学大学院 本田 晃寛
- (2) グローバルリーダーの育成を目指したシティズンシップ教育の原理と方法に関する研究
－SGH校の取り組みを手掛かりにして－
岡山大学大学院 高 雨
- (3) 社会的統合について考えさせるグローバル教育プログラム開発研究
－新型コロナ感染症対策の国際比較を題材として－
岡山大学大学院 周 星星

- (4) 中国における多文化共生を目指した教育の特質に関する研究
 - 社会系教科における民族に関する記述の分析を手掛かりとして -
 岡山大学大学院 赫連 茹玉
- (5) シミュレーションゲームを活用した主権者教育プログラムの開発
 - 「人の支配」と「法の支配」を題材として -
 岡山大学教育学部 竹田 義史
- (6) 批判的な障害認識の形成をめざした高校公民科単元開発
 - 単元「見た目は個人の問題か」の場合 -
 広島大学大学院 久保 美奈
- (7) 新科目「公共」を見据えた「現代社会」と探究型学習の連携を目指す授業開発研究
 - 食品ロスを主題とした社会参画学習を事例として -
 新潟大学大学院 小林 真也
- (8) 社会系教科におけるデジタル・シティズンシップ教育の意義と可能性
 - ソーシャルメディア時代に求められるメディア・リテラシーに着目して -
 名古屋市立大学大学院 斉藤 雄次
- (9) 社会科における自律的な学習者の育成に関する一考察
 岡山大学大学院 史 鵬宇
- (10) 教師と子どもが協働して取り組む社会科評価の特質
 - 「社会的な見方・考え方を選択して記述する問題」を事例として -
 宮崎大学教育学部附属中学校 鬼塚 拓
 宮崎大学 藤本 将人
- (11) 実践的意思決定の基盤を形成する社会科消費者教育
 - 公民的分野小単元「あなたは将来どのような払い方をする」の場合 -
 西脇市立西脇中学校 横川 和成
- (12) 生徒が主体的に学ぶ「生徒による授業」の実践研究
 - 生徒アンケートの結果から授業のあり方について考える -
 兵庫教育大学附属中学校 安永 修
- (13) 顕在的カリキュラムが中学生の社会参加に与える影響
 - ICCS調査を応用した質問紙調査から -
 広島大学大学院 小栗 優貴
 広島大学大学院 堀井 順平
- (14) 中学校における「ルール」「決まり」を視点とした教科横断型の授業開発
 - 社会科と保健体育科の場合 -
 鳴門教育大学大学院 川岡 杏子
- (15) 国政における選挙制度と「投票価値の平等」の関連性に着目した高等学校公民科の授業開発
 - 「一票の格差」に関する最高裁判所判例の変遷に着目して -
 西九州大学 松井 克行
- (16) 学校教育にはどのような市民性育成が期待されているか
 岡山大学大学院 金縄あかり

- (17) 戦時期の公民科における「公衆衛生」の位置づけと取り扱い
新潟大学 釜本 健司
- (18) 社会参加学習における「振り返り」の特質
－ 単元「日本の財政を考えよう」を手がかりに－
四天王寺大学 西口 卓磨
大阪教育大学 峯 明秀
- (19) 地域の未来を支える人材育成を目指した学校と地域の協働による主権者教育プログラム開発
岡山大学大学院 山田 風紗
- (20) 科学的リテラシーの育成を目指した理科と社会科の合科的指導を取り入れた授業開発研究
－ 自動運転技術の導入をめぐる問題を取り上げて－
岡山大学大学院 林 大智
- (21) 模擬裁判の授業とその意義
－ 米国の公立高校の世界史の教室の観察を通して－
岐阜工業高等専門学校 空 健太
- (22) 社会問題の個人内化を行う中学校社会科授業
－ 中学校社会科公民的分野小単元
「インターネット・SNSと人権侵害」の開発と実践の成果に基づいて－
岡山大学大学院 杉田進太郎
- (23) 食への関わり方から将来設計を考えさせる教育プログラムの開発
－ 食育とキャリア教育の融合からの発想に基づいて－
日本マクドナルド株式会社 山田 真珠

【第5分科会】教師教育等

- (1) 二人の初任者教師の社会科観をめぐるセルフスタディ
－ 授業研究をテーマとした対話を通して－
尼崎市立園和小学校 川向 雄大
豊島区立富士見台小学校 片山 元裕
- (2) パフォーマンス課題を組み込んだ単元計画に基づく実践に関する一考察
－ 「思考・判断・表現」の評価に焦点を当てて－
東筑紫短期大学 高橋 純一
- (3) 社会科における防災・減災教育の課題と方略
－ 社会科教員のゲートキーピング踏まえて－
東京学芸大学大学院 後藤 賢
- (4) 社会科教員養成における模擬授業の意義はどのように語られてきたのか
－ 論文レビューをもとにして－
東海大学 齊藤仁一朗
山梨大学 後藤賢次郎

- (5) 生徒の実態をふまえた価値観形成をめざす社会科授業の単元開発
 -教育実習における授業実践と授業成果の検討-
- 宮崎大学大学院 渡邊 直人
- (6) 社会系教科における教員研修のあり方への一考察
 -資格試験のアプローチから-
- 兵庫教育大学大学院 岩橋 嘉大
- (7) カナダ・オンタリオ州の社会科カリキュラム設計アプローチを巡る
 「スミスvsギブソン&ケース論争」の分析
 -各領域の「見方・考え方」を束ねる学際的な枠組みの意義と課題-
- 広島大学大学院 玉井 慎也
 広島大学大学院 高松 尚平
 広島大学大学院 渡邊 竜平
- (8) 演習科目におけるハイフレックス型授業形式の導入について
 -「外国史演習」での実践事例の分析-
- 常磐会学園大学 井上 敏孝
- (9) 政治への関心を高めるための学習過程についての一考察
 -大学生へのアプローチを手がかりに-
- 名古屋学院大学 菊池八穂子